

このセッションでは、グループ毎に各チューターの下で、IVUS に関して教えて頂いた。IVUS の基本から様々な IVUS 所見に関して興味のある症例について、細かく教えていただき、非常に勉強になった(個人的にこの身近な距離でのグループセッションが自分の性格にあっていることもあり、全体での講義よりもためになった)。IVUS に関しては、3 年目までの病院では、ほとんどされていなく、4 年目になって当院に赴任してから初めて接したといっても過言ではなかった。そのため、IVUS に関する知識やその読影力はわずかしかない。個々人に 1 症例ずつ IVUS 所見を読影してもらいセッションは進行していったが、自分の症例；造影上、RCA 内に多量の血栓像を認める症例での IVUS、について殆ど発言できなかった。他の参加者の方は、活発に質問し、盛んにチューターの先生と討議を行っておられた。自分の勉強不足を痛感すると共に、全国各地にはこんなにも PCI に対して、熱意を持った人たちがたくさんおられることをあらためて実感した。そういった他の施設の先生方と接するというのもこのセッションの魅力の一つであったと思うし、自分はこのセッションでさらに奮起させられた気がする。また IVUS という分野での、豊富な知識と経験を持たれたチューターの先生から、直接指導していただけるのが、非常に良かった。様々な症例(各種 AMI での所見、hematoma、coronary dissection、IVUS でのマーキング etc)があり、IVUS 初心者の自分にとっては非常に勉強になった。自分で本を読んで得られる知識も大切かもしれないが、このように直接ここがこうなると教えていただいたほうが、数倍も早く身につけていった気がする。惜しむらくは、この時間が 70 分と短めであったことであった(個人的には、半日くらいでも良かった)。